

にっこり

ながさき

ようこそ、笑顔咲く長崎県へ

Nagasaki Discovery Magazine ni-ko-ri

 長崎県



港街佐世保
海の歴史と魅力を
体感する

No.

02



このころの
原風景
地域特集
佐世保市
Sasebo City

とんねる横丁

戦後を生き抜いた庶民の台所

TUNNEL YOKOCHO

今はなき小学校のグラウンド下の岩山に、トンネルを使った店が軒を連ねている。まあいい天井に奥行きのある店内は夏でもひんやりしていて、保冷庫としても利用されている。「気温の差の少なかけん、蒲鉾作りにはもってこいの環境さ」と語る三代目に、創業八十年の本田蒲鉾店の舞台裏を見せていただいた。魚屋、青果店、蒲鉾屋、花屋、刃物屋、ホルモン屋、大衆食堂など昔ながらの店が立ち並ぶこの商店街は、店の形から「とんねる横丁」と呼ばれている。

実はこのトンネル、岩山を手掘りして造られた防空壕なのである。今も店内の壁には命を削ったようなノミの跡が生々しく残り、のどかな市場の空気を一変させる。

幸いこの界限は空襲の被害が少なかったため、戦後はいち早くヤミ市が現れ、佐世保で一番賑わっていたという。

時代は平成となり、客は市場からスーパーへ、買い物かごはエコバッグへと変わった。だが、どんなに世の中が移ろいゆこうが、この横丁にしかないものがある。

それは空襲の記憶のなかに平和な日常を刻む街の人々の営み。店主と客との間に、今日も威勢のいい「いらっしゃい」が飛び交っている。

港街佐世保



軍港としての歴史と、
九十九島の魅力を訪ねる

ふるさと再発見



佐

世保市は、海を利用して発展してきた港街である。アメリカ海軍や海上自衛隊の基地がある佐世保港、映画「ラストサムライ」にもその美しい光景が登場した西海国立公園九十九島がある。

湾内は水深が深く、外海との出入口が一つ所しかない。狭い湾口は島々に隠されるような地形をしており、外洋から船舶群を確認することが難しい。このように軍港として天然の良港である佐世保港は、西海における近代日本の海防の要として利用されてきた。

九十九島は、湾外から北へ二十五キロにわたり島々が点在する海域を指し、島の密度は日本一といわれている。九十九とは無数にある島の形容で、実際の島数は二百八。国内唯一の外洋性多島海の景観は、江戸時代中期から景勝地として知られ、北原白秋や種田山頭火ら多くの詩人俳人たちの心もとらえていた。

現在では、リゾート地として、シーカヤックやスキューバダイビングなど、マリンスポーツのメッカ的存在となっている。また、カキの養殖も盛んでカキ焼きの風景は佐世保の冬の風物詩になっている。昔も今も海を背景に時代を歩んできた佐世保市は、近年「軍港」としての機能と「商港」としての機能のすみ分けを図りながら、さらなる発展を目指している。そんな港街・佐世保の新たな魅力を探訪する。

地域特集
佐世保市
Sasebo City



ツアーや 見学を通して 軍港の歴史を伝える

海 があり山があり、アメリカ海軍と海上自衛隊の基地がある街。佐世保市が発展してきた歴史の背景には、常に戦争という暗い歴史が存在した。

今日の佐世保市が、人口四千人ほどの寒村から一足飛びで市に昇格したのは明治三十五年のこと。旧日本海軍の鎮守府開庁以降、十年余りで急成長し市制の歴史が始まった。

その後、第一次世界大戦、満州事変、日中戦争、太平洋戦争と皮肉にも戦争のたびに人口がふくらみ、昭和十九年には二十八万七千人（動員学徒を入れると三十二万人ともいわれている）にも達し、九州で第四の都市となっていたという記録に驚かされる。

だが、太平洋戦争末期の大空襲により市中心部が焼き払われ、終戦と海軍解体で人口は半減。戦後は佐世保港の商港へ

の転換と、九十九島を中心とした西海国立公園の指定による観光地の基盤整備を図ろうとしたが、朝鮮戦争勃発とともに米軍を中心とした国連軍の朝鮮戦線への前線基地として、再び軍港の機能を担うこととなる。

日本の西の果てにある小さな村に西の海を守る使命が与えられ、旧海軍時代から今日に至るまで佐世保市の歴史は常に海が関係していたといえるだろう。そんな軍港史に興味を抱き、このほど和文と英文で読める佐世保軍港史を執筆したアメリカ人がいる。米海軍佐世保基地で働く、佐世保市在住二十年のフィリップ・イーキンスさんだ。

「佐世保に赴任する前から日本の歴史や文化にすごく興味を持っていました。実際に暮らしてみると、基地内外に海軍をはじめ、貴重な遺構や古い史跡がたくさん残っていて、それを知ることができます。す佐世保が好きになっていきました」。

彼は佐世保観光コンベンション協会が毎月行っている「海軍さんの港まちなツアー」で、アメリカ海軍基地のボランティアガイドも務めている。彼が手がけた本を片手に基地内を案内してもらったが、赤レンガ倉庫をはじめ、基地内には旧海軍時代に建てられた建物が現役で使用されており、時代の生き証人に出会った気分だった。

基地のそばにある海上自衛隊佐世保史料館「セイルタワー」には、旧海軍士官の集会所だった佐世保水交社の一部を修復保存しており、現在に至る海上防衛の歴史を学ぶことができる。この日は倉島岸壁に繫留している護衛艦にも乗船させていただき、日本の海を守る男たちの姿を見た。四年ほど前からは毎週土日及び祝日（九時～十一時・十三時～十五時半の一日二回）に一般公開しており、五月の連休中には一日に約千五百人もの見学者があつたそうだ。

あらためて郷土の歴史を振り返ると、佐世保市の歴史は軍港としての機能を抜いては語れない。難しい問題だが、これからの未来、この港が平和の防波堤になつてほしいと願っている。

■アメリカ海軍佐世保基地内に残る旧日本海軍が造った赤レンガ倉庫群。これほどの規模で現存しているのは全国でも珍しい。現在は倉庫や売店として使われている。■護衛艦の見学に訪れた観光客。ひとつの湾内に米軍そして海上自衛隊の軍港がある光景は佐世保ならではの。■佐世保初ともいえる和文・英文で読める佐世保軍港史「Serving the Fleet」艦隊を支え続けて」を執筆したフィリップ・イーキンスさん。■1916年に建てられた佐世保鎮守府港務部。現在は米海軍佐世保基地司令部として使われている。■倉島岸壁に繫留中の海上自衛隊護衛艦「せんだい」の若き自衛隊員。100人ほどの乗組員が任務にあたっている。

(財)佐世保観光コンベンション協会
佐世保市三浦町21-1 (JR佐世保駅構内) TEL.0956-23-3369

[サイト佐世保](#) [検索](#)

海上自衛隊佐世保史料館（セイルタワー）
佐世保市上町8-1 TEL.0956-22-3040



明

治中期から旧日本海軍の鎮守府として重要な役割を担っていた佐世保市は、戦後まもなくして進駐軍が入り、米軍基地と共存する街となった。

その頃、隣国・朝鮮半島で覇権をめぐって東西が対立し、朝鮮戦争が勃発。アメリカ軍を中心とする連合国軍への物資補給のほとんどが日本で行われ、皮肉にもこの戦争が経済復興への第一歩を踏み出すきっかけとなる。「朝鮮特需景気」で街は大いに賑わい、日本での最前線となったのが佐世保港だった。物資の補給所としてはもちろん、前線に出ていく多くの兵士たちや後方支援の米軍関係者が佐世保市に集結。娯楽産業が生まれたのはいうまでもなく、彼ら相手の女性やミュージシャンたちが全国から流れてきた。

昭和二十六年から三十年頃までの当時、市内には民間のダンスホールやキャバレーが十五ヶ所ほど、米軍関係のクラブが九ヶ所あった。いずれもバンドを抱えており、その数は三十バンド以上、二百人以上ものミュージシャンがこの小さな地方都市で食べていたという事実に驚かされる。その中には、当時のナンバーワントランベッター南里文雄をはじめ、スマイリー小原、原信夫、ジョージ川口など、後に東京で大活躍することになるブレイヤーもいたという。街の中は兵士たちや、彼らに連れられた女性たちであふれ、満員のダンスホールでは水兵たちが日本人女性とジルバやブルースを踊り、明日を

も知れぬわが身への不安を吹き消すようにドルを使っていたという。

アメリカナイズされた当時の面影は、今でも湊町から栄町の外国人バーなどに残っているが、音楽に関しては佐世保市とジャズは切っても切れない仲。その関係を再燃させたのが、この街で四十年近くジャズスポット「イーゼー」を営んでいる山下ひかるさんである。「いつか仲間と一緒に野外ジャズライブをやること」という夢を常連客や音楽仲間呼びかけ、一九九〇年に実現した小さなステージが、今日のジャズフェスティバルにつながっている。

翌年は市制九十周年の記念事業として、市と協力してジャズの本場・ニューヨークから超一流の演奏者たちを招き、佐世保港が一望できる千景公園で「サンセット99ライブ・サセボ」を開催。二〇〇三年からは会場をハウスステンボスに移し、「サンセット・ジャズ・イン」と名称を変えて極上のライブを毎年くり広げている。また、ノージャナルの野外音楽イベントや市内のライブハウスと協力して「SASEBOライブウィーク」全県下で開催されている「ながさき音楽祭」の佐世保バージョンで、ジャズを中心とした公園やアーケードでの街角ライブなども仕掛けています。「ジャズの魅力は決まりがないこと。崩していく面白さというか、なんでもありの猥雑さが人は惹きつけるとじゃなか？」

港街・佐世保とジャズは似ている。



JAZZ SASEBO

ジャズスポットイーゼー
山下ひかるさん
(上写真)

アメリカ文化が
根付いた街に
ジャズが流れる

九十九島の海を体感する 人気の水族館 「海きさらら」

海 きさららは、九十九島の海を体感できる水族館。多くの島々が点在し、砂浜や干潟など環境の変化に富んだ九十九島の海をできるだけ忠実に再現し、そこに生息する海の生物たちのリアルな姿を伝えている。その象徴的な光景を見ることがするのが九十九島湾大水槽。青く輝く水中を移動するマイワシの群、優雅に泳ぐサメやエイ…。設置された擬岩は実際に九十九島の岩の型をとって造ったものだという。大水槽は天井がないので、自然の光がそのまま降り注いでもきれいだ。この美しい光景が実際の九十九島の中に広がっているのかと思うとワクワクしてくる。飼育員のひとり野見山理美さんは、「できるだけ自然に近い環境で魚たちを育てるように心がけています。それを見てお客様に感動していただけるだけでも嬉しいですね」。きさららと瞳を輝かせながらこう語ってくれた。

次に出会ったのは暗闇に光る幻想的なクラゲたち。国内最大級のクラゲ展示場「クラゲシンフォニードーム」は、光が届かない深い海底に潜っていくかのように階段を降りたところにあった。青く、白く、時には緑色に姿を変える二十種類のクラゲたち。九十九島の海にはこんな幻想的な世界が広がっているのだ。クラゲたちの育ての親ともいえるのが、クラゲ博士と呼ばれている秋山仁さん。クラゲ研究室で繁殖させたたくさんさんの赤ちゃんクラゲを育てている。「九十九島には百種類ほどのクラゲが生息しています。いろんな種類のクラゲを見て楽しんでいただきたいと思います」と秋山さん。

展望ロビーを抜けて青空の下に出ると、歓声が聞こえてきた。そこには三頭のイルカの愛らしい姿。九十九島の海には実際にイルカたちがよく遊びにくるという。「このイルカは人懐っこくて、とても優しい性格をしているんですよ」と言うトレーナーの出来真由美さん。現在、三頭はまだまだ訓練中というが、プログラム以外でも観客達にボールを投げて遊びに誘うなど愛嬌たっぷり。それだけイルカと観客の距離が近いのだ。

海きさららは、規模の大きな水族館にはない魅力がある。ただ海の生物を見学するのではなく、より九十九島の生物に近づけるという感覚。スタッフの皆さんの生物に対する愛情と、一万六千匹の命の温もりをぜひ感じていただきたい。

九十九島水族館「海きさらら」
佐世保市鹿子前町1008 TEL.0956-28-4187

海きさらら 検索



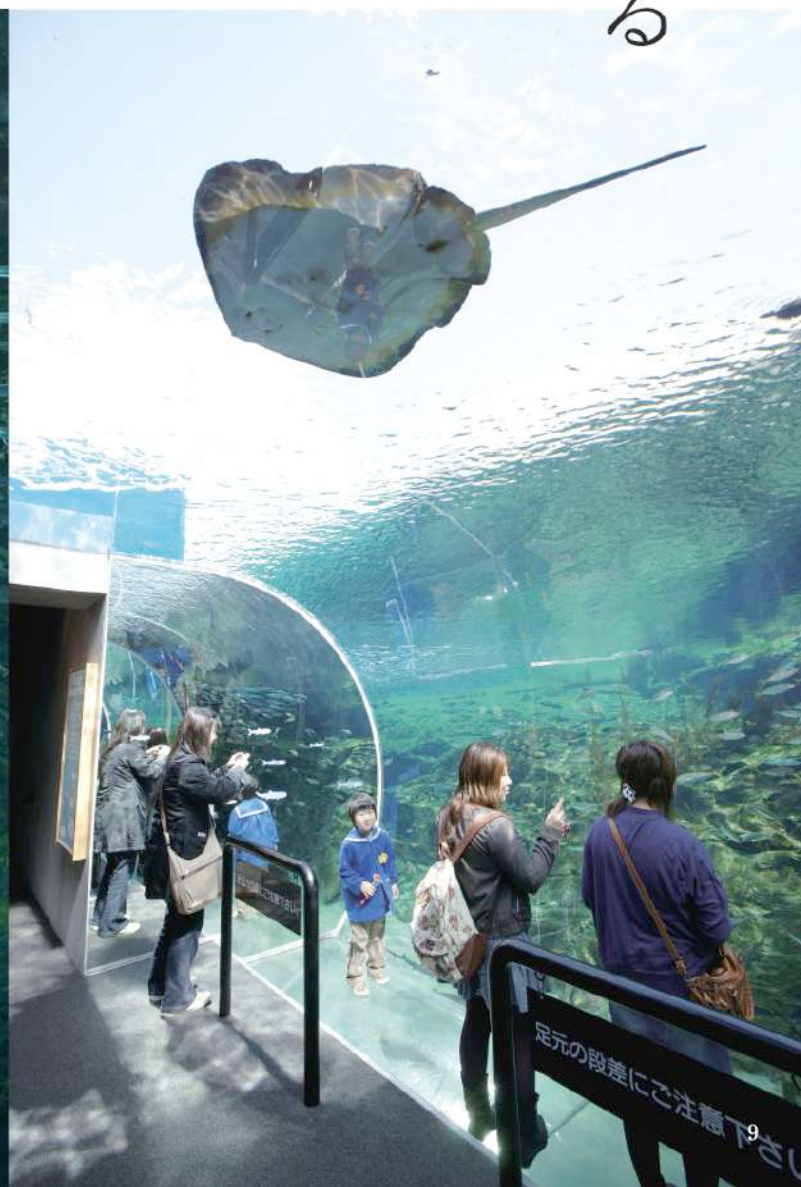
イルカは毎日、サンマやアジなどの餌を12〜13kgほど食べるそう。そんなイルカの餌作りから毎朝の健康チェック、トレーニングなどを行う鹿兒島出身の出来さん。一日に3回行われるプログラムについては「毎日がぶっつけ本番なのでハラハラしていますが、イルカ達の愛嬌と賢さと、お客様の歓声に助けられています」と元氣一杯に話してくれた。



クラゲはまだ解明されていないことも多いらしい。そもそもハッキリとした定義付けができないというのだから不思議な生物である。「クラゲはとても美しいですし、癒されますし、研究しがいがあります」と語る秋山さんは、目に見えないほど小さな赤ちゃんクラゲに餌をあげていた。毎日、水替えの時には一匹ずつスポイトで移動させるというから驚きだ。



「海の中を見られることがすごく不思議だったんです」。魚類担当の野見山理美さんは、幼い頃の水族館での感動が忘れられず、水産系の大学に進学。しかし卒業時は飼育員の募集がなく、別のレジャー会社に就職したそう。それでも夢を諦められなかった彼女は、昨年この水族館の募集を知り長年の夢を叶えた。毎日が幸せだと、彼女の笑顔が語っていた。





九十九島の海の恵み

規格外の魚を活かす 「もったいない食堂」の取り組み

■流通にのせるため、魚種を問わず規格から外れた魚たちが入れられる色箱。この魚たちは「色もの」と呼ばれ、破格の安値で取引される。■「もったいない魚の取り組みは手間もかかるし、ボランティアに近いんですが、広まってくれることを願っています」と金子さん。■もったいない食堂は地産地消もテーマ。野菜も地元産の減農・有機野菜にこだわり、規格外の野菜も使用している。毎日食べても飽きないよう全体的に優しい薄味だ。■福田さんは社員食堂としてスタートした時から調理場にいるベテラン。定食は平日でも100食ほど用意するという。

佐世保魚市場株式会社
長崎県佐世保市相浦町1563
TEL.0120-58-0343
佐世保魚市 検索

九 十九島の海は県内屈指の好漁場。佐世保市民は海の恩恵を受けながら暮らしてきた。だからこそ海の恵みを無駄にしたくない。そんな想いから「もったいない」をキーワードにした取り組みが始まっている。

佐世保市西部に位置する相浦港にある佐世保魚市場。ここには、一般の人でも食事ができる「もったいない食堂」がある。美しい九十九島の景色を楽しみながら食事ができるこの食堂では、もったいないといわれてきた魚たちが活躍している。

食堂の発起人である金子卓寛さんに話を伺った。「魚市場のセリ場には、たくさん

並べられます。こういった規格外の魚は、食べるのには何の問題もないのですが、その価格は数百円という安値で取引をされている。なんとかならないものかとずっと考えていたんです」。

そして、金子さんのもう一つの「なんとかならないか」は、給食センターに運営を任せていた社員食堂のことだった。毎日ここでは新鮮この上ない魚たちが水揚げされている。それにも関わらず、社員食堂は冷凍ものや輸入物の魚を使った料理が出されていたのである。熊本で規格外の野菜を使った食堂があることを知ったのはそんなときだった。その取り組みに共感した金子さんは、さっそく社員食堂を市場直営にし、色箱の魚たちを使う

ようにした。色箱を市場価格より数百円高く買い取り、食堂の料理として提供する。漁師たちはもちろん、新鮮な魚を食べられるようになった社員たちも大いに喜んだ。しかし、メニューを決めるのはなかなか大変だという。調理を担当する福田とみ代さんは、毎朝四時から始まるセリ前に出社し、その日の色箱を確かめている。「色箱に入った魚は種類も数もその日によってさまざまです。でも今では、見に行く前からどんな魚たちが色箱に入るのか分かるようになったんですよ」とこやかに話してくれた。

「もったいない食堂」は、それから約一年後、一般市民も受け入れる食堂となり、今では新鮮な魚料理を求める多くの人が

ちで賑わっている。そして、もったいない魚たちは、真空パックされた「もったいないセット」や「アジのたたき身」として商品化された。

「これからは市場と一般の人々との距離をもっともつと縮めたいと思っていますんですよ」と金子さん。もったいない魚の取り組みは、まず規格外とされる魚たちの存在を知ることから始まる。この日の日替わり定食のメインは「アジのポテトのせフライ」。新鮮なヤズの刺身もついていた。

今や世界で通じる言葉になりつつある「MOTTAINAI」。人々の営みと自然を共存させていくこの取り組みが、佐世保から世界へと広がっていくことを期待したい。



海

原に銀色のヴェールを広げるように、九十九島を優雅に遊覧する「パールクイーン」。その航路は、おだやかな海として知られるが、入江が複雑で海図にない浅瀬が多い上、干満によって島の表情が変わるため、熟練の海技士にとっても操船泣かせのコースらしい。

この海を舞台に夢を叶えたひとりの女性がいる。北九州市出身の赤石茂美さん三十二歳。佐世保に来て十一年になる。海好きの父に連れられ、幼き頃からふるさとの海を見て育った赤石さん。三つ子の魂の記憶とでもいおうか、十代半ばにして「海にたずさわる仕事がしたい」と、中学卒業と同時に親元を離れ、山口県の国立大島商船高等専門学校に進学した。日々の訓練の過酷さにリタイアしていく同級生も多く、卒業時は入学者の半数に。男子学生に比べ体力も腕力も劣る女子学生にとって、在学中の五年間はまさに自分の限界との闘いだったことだろう。しかし、彼女にとって性差は問題ではなく、むしろ好きなことを学べる喜びに満たされていたと語る。

卒業時は大型船の操船ができる三級海技士の免許も取得し、平成十年にハウステンボスに入社。運河を遊覧するカナルクルーザーの船長を経て、平成十五年に西海パールシーリゾートに初の女性船長として招かれた。

「パールクイーン」就航から一年が経った頃、船の名前にちなんで女性船長を誕生

させたいというお話をいただいてからずいぶん悩みましたが、大型の免許が活かせるせつかくのチャンス。大きな船にお客さんに乗せて走りたいという、一度は封印した夢に挑戦してみようと気持ちが高まりました。でも、恥ずかしいことにそれまで九十九島を知らずにいたんですよ。

船上から初めて見る海の国立公園の景色に感嘆し、数ヶ月は海図を見ながら、「チャートに書かれていない岩などは漁師さんに教わりました」と、九十九島の地形や名称を勉強。周囲の誰もが全国でも珍しい女性船長誕生に期待を寄せる中、同年六月にデビューを果たした。

この日から七年の歳月が経ち、今ではすっかり佐世保の顔として観光客にも人気の赤石船長。舵をとりながら四季折々の海の景色を目にしている彼女に、九十九島とパールクイーンの魅力を聞いてみた。「狭い入江に入り込んだり、島に上陸するくらいの近距離を走る冒険コースなので、お客さまには自然の迫力をダイナミックに感じていただけたと思います。映画のワンシーンにも登場したこの景色は、干満時、風や夕暮れ時でもまったく違った表情を見せ、時に厳しく時にやさしく、その二面性がたまらなく好きです」。小麦色の肌にくっきりとした横顔が美しい、もう一人のパールクイーン。夢は大きく「日本いや世界と佐世保をつなぐ架け橋になりたい」そうだ。

ニコリスト

地域特集
佐世保市
Sasebo City

九十九島の海で夢を叶えた
佐世保初の女性船長

赤石茂美さん

Akaishi Shigemi



あかいし しげみ

1977年、福岡県北九州市生まれ。山口県の国立大島商船高等専門学校を卒業し、女性では珍しい3級海技士（近海では500トンの大型船が操船できる）の免許を取得。2003年から西海パールシーリゾートの遊覧船女性船長として、「九十九島遊覧船パールクイーン」及び海賊船「海王」の船長として、日々、九十九島の海を航海している。趣味は父親直伝のサーフィン。

西海パールシーリゾート
佐世保市鹿子前町1008
TEL.0956-29-4107

西海パールシー 検索

このコーナーでは、地域を愛する人で、伝統芸能や伝統技術を大切に守り伝えている人やまちおこし・珍しいことに取り組んでいる人などを紹介します。

この海から発信
世界と佐世保をつなぐ
架け橋になりたい



恵みの歳時記

九十九島の
海で育った幻の食材

九十九島岩牡蠣

真っ赤な炭火が燃える網をみながら、
今か今かと牡蠣の殻が開くのを待つ。
カキ小屋の光景は佐世保の冬の風物詩にもなっている。
九十九島の牡蠣といえば、大衆的なものという印象があるが、
九十九島岩牡蠣は、地元の人にはほとんど入ることのない極上の逸品。
春から夏にかけて旬を迎えるこの幻の食材は、
九十九島の澄んだ海の中でじっくりと育てられる。

九十九島 牡蠣養殖の はじまり

昭和四十年代前半、穏やかで澄み切った九十九島の海に広島の牡蠣養殖業者がやってきた。当時の広島の牡蠣養殖業者は近代養殖法を確立した先駆者。広島の長者番付を独占するほど羽振りがよかったという。零細な漁師が多く、これといった産業もなかった九十九島を活気づけるため、漁協が彼らを招いたのだ。そして、その光景は九十九島の漁師たちに衝撃と勇気を与えた。
山から流れ込むミネラルと海水が入

り混じった九十九島の海は、牡蠣の養殖に最適の環境だった。これを機に多くの漁師たちが養殖に力を注ぎ始め、九十九島牡蠣の生産が始まった。九十九島の海は透明度が高く、牡蠣の餌となるプランクトンや藻類が少ない。だから、広島産のように大きく育たない。しかしその分、旨味が凝縮された安全・安心な牡蠣が生産できる。漁師たちはそう確信した。



美しい海で じっくりと 育てられる逸品

二年かけて 育てる岩牡蠣

冬場に旬を迎える真牡蠣は夏場に卵を産み、秋口に小さい種となり、ワイヤーに連なった状態で海の中へ吊り下げられていく。こうして九十九島の美しい波のゆりかごに揺られながら一年を過ごす。

一方、秋に産卵期を迎える岩牡蠣は、真牡蠣よりも身がひとまわり大きく、独特の甘みとほろ苦さがある。そのほとんどが生で食され、食べ応えも充分だ。通常、牡蠣は生食用と加熱用に分かれていますが、その違いをご存知だろうか？ 実は生食用と表示されている牡蠣は、基準をクリアしたきれいな指定海域で育ったもの。その上、出荷前まで滅菌処理された海水で休ませているので安心して食べられる。もちろん、九十九島の岩牡蠣は生食用である。

しかし、九十九島の岩牡蠣は地元佐世保でも知名度が低く、食される機会はほとんどない。その理由をマルモ水産代表の末竹さんはこう語る。「九州には夏に牡蠣を食べるという文化がないんです。それに冬場に食べる真牡蠣よりも値段が高い。だから九十九パーセントが関東方面に流れていくんです」。

マルモ水産では、シングルシードという方法で岩牡蠣を育てている。ワイ

ヤーに連ねて海に吊り下げるのではなく、個体のまま籠に入れて育てていく。これによってフランクトンがムラなく行き渡り、きれいな状態を保ちやすくなるという。その反面、養殖できる数は少なくなり、定期的に籠を引き上げて藻などを除去する必要がある。かかるのは手間だけではない。その生産には二年間という歳月を要するのである。こうして育てられた岩牡蠣は、真牡蠣のおよそ二倍の価格。そのほとんどが東京に出荷されるというのもうなずける。出荷を控えた岩牡蠣はまず機械で殻の汚れを落とし、さらに人の手でひとつひとつ殻のヒダに入った汚れを取り除く。その後、UV殺菌された海水に入れ、超音波の振動で中の細かい汚れを落とす。「とにかく九十九島の岩牡蠣は安全で美味しい。もっと多くの皆さんに知って欲しいですね」。そう語る末竹さんから自信と情熱を感じた。

九十九島の海に抱かれ、手間と時間をかけて育てられた九十九島の岩牡蠣。東京へと向かうその箱の中には、この美しい自然と人々の愛情が一緒に詰められている。

■重ならないよう岩牡蠣を籠の中に並べ、そのまま海の中へ、手間と時間をかけてじっくりと育てられる。
■マルモ水産3代目代表の末竹邦彦さんは6年前にサラリーマンから転職。以来、独自で研究を重ね、多くの経験と知識を身につけてきた。今では他県の養殖業者も相談に来るそうだ。■殻のひだに入った汚れを丁寧に取除いていく。マルモ水産にはこの作業を40年以上続けているベテラン女性がいる。

有限会社マルモ水産
佐世保市船越町944
電話 0956-28-0602

マルモ水産 検索

EVENTS

7月～8月のイベント情報

暑い季節がやって来ました! 変化に富んだ長い海岸線をもつ長崎県には、海によって栄えた数々の歴史ある「みなと」が今も地域に住む人々の暮らしの中で根づいています。今回は、そんな「みなと」を中心に行われる、大人も子供も「にっこり」するような花火大会をご紹介します。

江戸時代、海外との交流の窓口【長崎港】 2010ながさきみなとまつり

長崎の夏の一大イベントとして定着している「ながさきみなとまつり」も、今年は「海フェスタながさき」に合わせて開催します。2日間で、10,000発の壮大な花火を打ち上げるほか、幕末パレードや全国パーロン選手権大会も開催されます。



期 間／7月31日(土)～8月1日(日)
会 場／長崎港水辺の森公園
お問い合わせ先／ながさきみなとまつり実行委員会事務局
TEL.095-822-0111
又はホームページで [ながさきみなとまつり](#) [検索](#)

明治以降、軍港として発展した【佐世保港】 第6回 させぼシーサイド フェスティバル

今回の地域特集の舞台「佐世保」の夏の一大イベント。今年も九州最大級の大花火(2尺玉)を始め、3,000発以上の迫力ある花火をお楽しみください。



期 間／8月7日(土)～8日(日) ※花火大会は7日に行われます。
会 場／佐世保駅みなと広場(佐世保市新港町)
お問い合わせ先／させぼシーサイドフェスティバル実行委員会事務局
TEL.0956-42-4151
又はホームページで [させぼシーサイドフェスティバル2010](#) [検索](#)

国境に近く、朝鮮との交易で栄えた【厳原港】 厳原港まつり・対馬アリラン祭

江戸時代の「朝鮮通信使行列」を再現した対馬ならではの祭りです。今年から、ろくべえや対州そばなど対馬の郷土料理が楽しめる「食の交流イベント」を新たに開催。夜には3,000発の花火で夜空を彩ります。

日 程／8月6日(金)～8日(日) ※花火大会は8日に行われます。
会 場／厳原港一帯 ※「食の交流イベント」は対馬市交流センター前特設会場
お問い合わせ先／対馬アリラン祭振興会事務局 TEL.0920-52-0452



●県内その他の「みなと」にかかわる祭りと花火大会

日本でいち早く南蛮文化が伝来した【平戸港】	平戸南風夜風人まつり「夏の陣」	8月7日(土)	3,000発
万葉の時代から大陸との中継点【勝本港】	壱岐の島夜空の祭典	8月16日(月)	2,200発
坂本龍馬が長崎で初めて上陸した港【島原港】	島原温泉ガマダス花火大会	8月30日(月)	6,000発

そのほかにも県内各地で夏の祭典が行われます。

その他の県内のイベント情報は、リニューアルして旅の予約もできるようになった「ながさき旅ネット」でご覧いただけます。

<http://www.nagasaki-tabinet.com/> 又は [ながさき旅ネット](#) [検索](#)

NEWS & TOPICS

県内ニュース・トピックス

画期的な試みでエコアイランド五島をPR 世界初のEV100台イベント



出発する電気自動車



出発を待つ100台の電気自動車と急速充電器(左手前)

EV(電気自動車)とITS(高度道路交通システム)を活用し、地域の活性化を目指して県が取り組む「長崎EV&ITSプロジェクト」。

7月2日・3日の両日、世界遺産候補がある自然豊かな五島列島で、観光などに活用しようと導入された電気自動車による「EV100台イベントin五島」が行われました。世界でも例がない電気自動車100台によるクリーンで整然としたパレードは当日、ギネスに認定されました。

主にレンタカーとして導入されている電気自動車は、オリジナルのカーナビゲーションで、島内のさまざまな観光ルートや観光地を紹介しています。

いよいよ舞台は長崎へ 大河ドラマ「龍馬伝」



大河ドラマ「龍馬伝」は、7月18日から長崎が舞台となる第3部の放送が始まりました。放送に先立ち、5月27日から30日にかけて長崎市内でロケが行われ、主役の福山雅治さんは「放送を機に長崎が活気づいてほしい」と語りました。ドラマを通して長崎の魅力ある史跡や風物が紹介され、観光客の増加が期待されます。

県では、本県観光振興の大チャンスととらえ、キャンペーンや観光・物産のPRを強化しており、本県への誘客に力を入れています。

「全国から観光客に来ていただくと本当にうれしい」と語る福山雅治さん

観光丸

龍馬とながさき

Vol.2



©ハウステンボス/J-13019

嘉永六年（一八五三年）、ペリー来航により鎖国が解かれ、海防の必要性を感じた幕府は、オランダに軍艦の購入を要請した。同年、幕府はオランダの協力を得て、洋式海軍の創設を目指して、軍艦の調達、艦長以下乗組員養成のための海軍学校の設立を決定。その二年後、オランダ国王から幕府に寄贈された日本初の木造蒸気帆船スピン号（のちの観光丸）を練習艦とし、長崎奉行所西役所に長崎海軍伝習所が創設された。

勝海舟や榎本武揚など幕末の優秀な武士たちはこの帆船で最新の航海術を学び、のちに勝海舟は神戸海軍操練所を開設。そこで、龍馬は航海術を身につけ、幕末長崎での活躍へとつながっていくことになる。

昭和六十二年（一九八七年）、龍馬が夢を託したこの歴史的帆船を当時のままに復元。現在、ハウステンボスで就航している。

ハウステンボス 観光丸幕末帆船クルーズ

大河ドラマ「龍馬伝」のロケで、龍馬役の福山雅治さんや勝海舟役の武田鉄矢さんなどが乗船した観光丸に皆さんも乗船してみませんか。現在の観光丸は、できる限りかつての姿に近くなるよう、オランダで復元・建造されたものです。船内では、展帆作業やロープワーク体験、ドラマに関する展示など、子どもから大人まで楽しめます。

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| ● 場 所／ハウステンボス内スパークンブルク地区 | ● 開催期間／2011年1月3日（月）まで |
| ● 運航時間／13：00、14：00、15：00 | ● 所要時間／約35分 |
| ● 料 金／中学生以上800円 4歳～小学生400円 | ● 電話番号／0956-27-0001 |
- ※ハウステンボスの入場料が別途必要です。お得なセット券や入場料付き前売券があります。

長崎県美術館

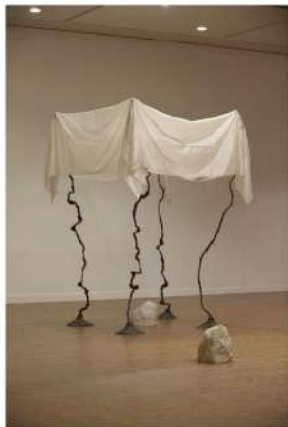
企画展

長澤英俊展

オーロラの向かう所

期間/8月29日(日)まで

イタリアを拠点に活躍する世界的な彫刻家・長澤英俊。本展では、近年の大作を中心とした代表作約20点により、深遠な長澤の世界をご紹介します。



バグダッドの葡萄の木/1975年

〒850-0862長崎市出島町2番1号
TEL.095-833-2110 FAX.095-833-2115

長崎県美術館 検索

お知らせ

登録者募集中!

見て美しい! 知って得する!

Nagasaki free.e-mail Magazine
メルマガ長崎県

長崎県から第1・第3水曜日の毎月2回、無料で届くメールマガジン。県内の観光情報やおススメイベント情報などを写真付きでより見やすく、わかりやすくご紹介します。プレゼントコーナーもあります。ぜひご愛読ください。登録はWEBで、

メルマガ長崎県 検索

アクセスしてね!



歴史・文化や物産・観光など長崎県の魅力的な情報をホームページで動画配信しています。プレゼントコーナーもあります。ぜひアクセスしてください。

よかテレ 検索



佐世保へのアクセス

飛行機で

羽田空港	110分	乗り合いジャンボタクシーで55分	佐世保駅	バスで25分	西海パールシーリゾート
伊丹空港	70分				
中部国際空港	85分	バスで85分			

鉄道で

博多駅	JR特急で110分	佐世保駅	
長崎駅	JR快速で100分		

車で

福岡IC	100分	佐世保中央IC	10分
長崎IC	75分		

佐世保市内の交通のお問い合わせ ・ 鉄道/JR九州佐世保駅 (0956-22-7115) 松浦鉄道 (0956-25-3900)
・ 路線バス/佐世保市営バス (0956-25-5111) 西肥バス (0956-23-2121)

* お詫び 創刊号P19「NEWS & TOPICS」の「西九州自動車道の一部区間開通」の写真キャプションに誤りがありました。右記のとおり訂正してお詫びいたします。(誤)佐世保みなとインターチェンジ → (正)佐世保中央インターチェンジ

おかえりなさい。

貴重な資料が

ふるさと壱岐に里帰り。

壱岐市立一支国博物館 第二回特別企画展

ふるさと 里帰り展



国指定重要文化財／
石造弥勒如来坐像〔壱岐鉢形嶺出土〕
(奈良国立博物館所蔵)



国指定重要文化財／
壱形土器〔壱岐カラカミ遺跡出土〕
(福岡市美術館所蔵)

平成22年7月9日〔金〕—9月20日〔月祝〕
壱岐市立一支国博物館

【企画展観覧料】一般 200円／高校生 150円／小中学生 100円

■開館時間／AM8:45～PM5:30 【休館日】毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は開館)



IKI CITY IKIOKU MUSEUM

壱岐市立 一支国博物館

長崎県埋蔵文化財センター

〒811-5322 長崎県壱岐市芦辺町深江鶴亀触515番地1

TEL 0920-45-2731 FAX 0920-45-2749

<http://www.iki-haku.jp/>

にこり

「ながさき にこり」は
「ながさき夢百景」をリニューアルし、長崎県内の各
地域の魅力をよりわかりやすくご紹介します。読んで
いて思わずにこりさせる情報誌を目指します。

平成22年7月発行
編集・発行／長崎県広報広聴課 〒850-8570 長崎市江戸町2-13 Tel.095-895-2021
<http://www.pref.nagasaki.jp>
デザイン／(有)イズワークス 印刷／(株)インテックス
※本冊子の内容は、長崎県のホームページでもご覧いただけます。

長崎県

この印刷物は古紙
配合率70%以上
の再生紙を使用し
ています。

R70